

共育ネットワークだより

宮内中学校区 笑顔いっぱい！共育ネットワーク事務局

令和4年 2月16日 発行

「大人にできることは環境づくり！」

昨年の10月18日(月)に、宮内中学校の講堂を会場として、宮内中学校区 笑顔いっぱい！共育ネットワーク教育講演会が開催されました。

講師に、山形県家庭教育アドバイザーの黒田三佳氏をお迎えし、「幸せな未来を創るコミュニケーション」～地域と共に生きる心豊かな子どもを育てるには～というテーマでご講演をいただきました。地域や大人が今できることは何かを考えさせられる講演会となりました。僅か1時間程度の時間でしたが、今あらためて私たちの暮らす宮内中学校区の良さを知ることができるとても中身の濃いお話をさせていただきました。



講師 黒田 三佳 氏

プロフィール

元日本航空客室乗務員。現在は人材育成アカデミーローズレイン代表、山形大学学術研究院非常勤講師、米沢市国際交流協会会長として活躍中です。一度の旅で山形に魅せられ、北欧デンマークで暮らしたのち米沢の里山地区に移住し子育てをしました。また、里山ソムリエとして1,000坪を超える森を管理し、森での自然学習会や英語くらぶ等、様々なイベントを行っています。エシカルな暮らしやSDGs達成のための山形流のライフスタイルについてなど、人と人、人と自然が良い関わりを持つための楽しい参加型ワークショップを行っています。

<参加者の感想より>

しっとりとしたお話で大変勉強になった。

とてもいいお話を聞かせていただきました。

素敵なお話でした。子どもの感性や素直さをさらに伸ばしていきたいと感じました。

私も関東から嫁いできました。はじめはさみしくしていましたが、その地域を好きになるのはその地域を知る事なのだと感じました。自分も楽しくなり、好きになると子ども達も同じように感じてくれるのかなと思いました。「不自由だけど不幸ではない」というお言葉を聞いてハッとしました。それは、どんな子にも言

えることだと思います。素敵なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。



地域の良さを再確認できた。くらしや生活の中での学びをうながせるコミュニケーションを意識した。

恵まれた自然環境の中で、様々な発見を子ども達にさせていきたいものだと思います。

視点を変えることで日常の中の多様性に気づくことができるということを改めて学びました。(例 外部から客観的に良さをを感じる。コロナの中での楽しみ)

今までそばにあるのが当たり前で、特に意識せずに暮らしてきた自然が学びの宝庫だということに気づきおもしろいなと思いました。「環境を作るのは大人だ」ということを忘れずに、子どもが自ら発見して楽しく学べる場を作れたらいいなと思いました。

時間ももっとたくさんあると経歴等も踏まえてもっと深く理解できたと思いました。

子ども達の為に大人が環境を作ることが大切だと思いました。話がとても聞きやすかったです。

こんなに自然がある地域だけれど自然と触れ合うような環境づくりはしていないな・・・と思いました。子育て、働き盛りを過ぎた世代の人達が沢山いる地域なので、ぜひその方々たちと交流できれば子どもが生き生きと育つのではないかと思った。

安心して安全な環境で認めてくれる人がいるということは大切。心に響きました。また、自然の中で感性が育つということで改めて、自然のふれる時を大切にしたいと思いました。自分の住んでいる場所の素敵な部分に目を向けようと思えたり、気づかされたり、もっと大事にしようと思えて感じられありがたかった。南原の里山、最近行ったことがなかったが、写真やイラストを見るととても素晴らしい景色、自然で一度足を運んでみたい。先生のやわらかく温かい人柄がにじみ出ている、とても良い講演会でした。ありがとうございました。

”子どものことを認めてあげる。見守ってあげるそれは大人ができる素敵なこと” 当たり前のことですがあらためてそうだよなあーと心に染みしました。子ども達の為に保育の現場でも子どものことを包み込んであげられる大人になりたいなと感じました。子どもの感性を育てていける保護者になりたいなと感じられる講演でした。

今の子ども達にとって必要な環境、大人が整えていくことで今よりもっとすこやかに育てていくことを改めて感じた。ゲームやテレビなどが子どもたちにとって当たり前になってきたが、もう一度本当に必要なのか薄れている自然での過ごした方、地元の良さをもっと感じてほしい。その為にも大人が地元の良さを伝えていく必要がある。里山にとっても興味があるので、行ってみたいなと思いました。コロナ禍の中でこのような素敵な講演をしていただきありがとうございます。



環境づくりの大切さを学びました。子どもと関わる時に認めてあげたり、見守ってあげたりすることを心掛け、感性豊かで自己有用感の高い子供に育ててあげたいと思いました。黒田先生の優しい口調から自然の大切さ、素晴らしさが伝わってきました。里山の中で暮らしておられるからこそその気付き、学びは子どもだけではなく、大人でもできると思います。豊かな生活こそが、心の豊かさにつながることを感じました。子ども達の未来のために今、私たち大人がどうあるべきか考える良い機会となりました。子どもと関わる者として、私自身も丁寧な暮らしの中で心を磨きな

がら子ども達とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。あたたかいご講演ありがとうございました。

大人が子供とコミュニケーションをとることの大切さを強く感じた大人たちが子どもの話を聞く、話しかけることをいっぱいすることで子ども達の心が豊かになるのでは。あいさつができる子はそういうのを感じるし、自分のことだけしか見えない子どもは、大人(親)とのコミュニケーションが足りないのではなかったのかと感じた。勉強、塾に行くこと、保育園、学童に預けてお任せではなく、親がもっと子供に関わることが大事だということを実感した。

素敵な感性をお持ちだと感じた。先生を包む里山を知りたい。また、宮内のことをもっと知りたいと改めて思った。

里山についてもっと詳しく知りたかったなと思いました。宮内は自然沢山なので、子ども達にとってさらに豊かに遊べる場所を作ってあげたいと感じました。ありがとうございました。

子ども達と会話をする際、忙しい時など子どもの話を流してしまう時があるが、子どもの話をしっかり受け止めているんなことを一緒に考えて行動していくことが子どもたちにとって大切なことだと感じた。また、大人がつくる環境も大切であると。自分の身の回りの環境を再度見直していきたい。

森の環境を最大限に活用して子ども達の学びを豊かにしたいと思った。林や森には環境にはないものがあることが分かった。里山は素晴らしいと思う。先生にはこれからも里山で良き教育を発展させていただきたいと思う。

とても勉強になった。環境を大切にしたいと思った。もっと我が子との時間を大切にしようと感じることができた。比べない精神はとても良いと感じた。自分が比べて比べてなかなか決められない・・・。

今後につながる話だった。

大切に愛おしいと言葉や行動で子ども達に伝える大切さを学びました。

子どもが自ら学べるような環境を大人がきちんと作ってあげるようにしたいと思った。子どもをしっかり認めてあげる。必要とされていることが伝わるように関わっていきたい。



自分が住んでいる町の良さを伝えたい。

子どもが理由なく愛おしい存在であることを意識せずに行えることで、子どももまた大人を信じて愛せるのだと思いました。

あらためて、自分が住んでいる地区の良さを考えさせられました。とても心温まるお話が聞けて良かったです。

「環境を作るのは大人」ということ。「子どもは大人が思っている以上に気づき考えていること」ということを忘れずに生活していきたいと思います。

環境を整えることの大切さを改めて認識しました。環境を作れるのは大人。「近所の人から人を信じることを知った。」とのお話が良かったです。丁寧な暮らしを大切にしたいと思いました。

保育教諭という立場から、また、母親という立場でお話を伺うことができました。明日から職場で家庭で環境について頭にとどめながら子どもにとって何が一番大切なのか、子どもが決められるよう心に余裕をもって過ごしたいと思う。良い相談者になれるよう、子どもが自分で決めて行動できるよう見守っていききたいです。

環境の大切さを改めて実感しました。今年の園内研でも環境がテーマです。今ある環境

は主体的な学びのきっかけになるという言葉は心に響きました。

幸せのエッセンスは・・・というところに何か気付かされました。とても良い講演会でした。



黒田先生のような優しく温かいトークを実践してみたいと思った。PDCAサイクルも。

子どもに携わる仕事(保育士)をしていて、主体的な学びについて常々職員間で話をしています。参考書内で学ぶ環境が大切な

ではなく、この地区だからこそ学べる事、地域の方とのつながりをもっともっと大切にしていける事を再確認させていただきました。ありがとうございました。

ゆったりとした口調でとても聞きやすかったです。地区の良い所を見直す良い機会となったと思います。

里山での自然教育を通して、分野をこえた深い学びのありようを知ることができました。デンマークの子育て環境の充実ぶりにはただただ驚きました。環境を整えることの重要性について改めて考えさせられる機会になりました。

子どものために様々な環境を整えて子ども達の好奇心などをたくさん育ててあげたいと思いました。地域の良さを子ども達に伝えてあげたいと思います。すてきな生活だと思いました。

1年間の活動を振り返る

○全体会・事務局会について

年度当初に計画した5月と1月の全体会及び第3回事務局会、6月と9月のあいさつ運動は市内にも感染者が確認されたことから、新型コロナウイルス感染防止対策のためやむを得ず中止しました。したがって、地区の委員の方々からの意見をお聞きする機会がありませんでしたが、事務局会の中でそれぞれの地区の情報交換が行われ、各地区の連携を図りました。

○あいさつ運動へのご協力に感謝

宮内金山地区は7月の運動のみの開催となりましたが、各地区ともに、それぞれ独自の日程・内容で行い、子どもたちの安全な登下校とさわやかなあいさつについて積極的なご指導をいただきました。各施設のPTAあいさつ運動や交通安全母の会などともタイアップした活動とすることができました。

○山形県家庭教育アドバイザーによる教育講演会

今年度も予定通り10月に開催することができました。約70名の参加をいただき開催することができました。

○年2回のネットワークだよりを発行

第1号では、委員長のあいさつと各地区あいさつ運動の紹介、教育講演会のご案内を掲載し、発行することができました。第2号では、教育講演会の内容を紹介しております。

○今後とも見守り隊の推進をお願いいたします

各地区で、児童が安全安心に登下校できるよう地域住民で通学路の見守り活動を実施しました。引き続きお見守りいただきますよう、よろしく願いいたします。